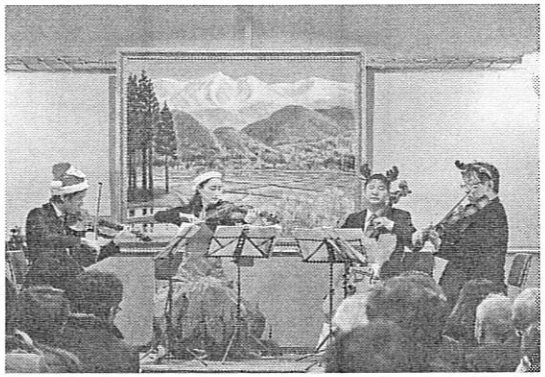
本社工場で音楽会

弦楽四重奏など楽しむ

三芳合金

大和合金グループの銅合金鋳造・鍛造メーカーである三芳合金工業（本社・埼玉県三芳町）はこのほど、本社工場で音楽会を催した。社員やその家族、地域の住民など同社に関わる人たちへの感謝を込めたイベントで、今回で4回目を迎える。倉庫を改装した手作りの音楽堂には200人以上が詰めかけ、立ち見も出る盛況ぶり。年の瀬の慌ただしさを忘れて、弦楽四重奏やジャズの演奏を楽しんだ。



弦楽四重奏では、東京交響楽団所属の奏者がサンタやトナカイに扮して演奏＝写真。ハイドンやベートーベンの名曲のほか、もろびとこぞりてなどクリスマスにちなんだ曲目を披露した。また、きよしこの夜の合唱や大和合金の萩野茂雄相談役が演奏を指揮する一幕も。指揮棒は自社製で、新幹線の熱交換器にも使われるりん脱酸銅製の内面溝付管を使った。

ジャズの演奏ではプロ奏者のフクムラサトシさんと小畑智史さんが会場を盛り上げた。終了後にはバーベキュー大会が行われた。同社の萩野源次郎社長は「非常に好評で海外からの参加者もいる。今後も日頃の感謝を込めて続けていきたい」と話している。